

# ハローホスピタル

*Hello Hospital*



## 病院の理念

職員が働きたい、働いてよかった、患者さんがかかりたい、かかってよかった  
地域が在って欲しい、在るので安心といえる医療をおこなう

## トピックス

- ・夏休み子ども医療体験 開催
- ・救急症例研究会 開催
- ・診療看護師（NP） 紹介

写真 夏休み子ども医療体験「心臓マッサージ」の様子

- ・敬老の日講演会 開催
- ・地中海式健康和食 料理講座 開催
- ・患者さんの声にお応えします



公益財団法人 東京都医療保健協会  
練馬総合病院  
<https://www.nerima-hosp.or.jp>





今年も夏休み子ども医療体験を2026年(令和8年)8月5日(水)と8月26日(水)の2日間にわたり開催しました。本年も定員を上回るご応募をいただき、各回20組が参加されました。多くの子どもたちと保護者の皆さんにお越しいただき、医療体験・院内見学を通じて、医療の現場をリアルに体感して頂ける機会となりました。

広報・公益推進室

## オリエンテーション

まずは白衣に着替え、医療体験の心構えを確認しました。「今日は病院ではたらく人の気持ちになって体験に臨みましょう」という言葉に、子どもたちは少し緊張した面持ちで耳を傾けていました。



## 医療体験

体験は「診察」「検査」「処置」など、医師や看護師、検査技師などの職員が直接指導しました。心臓の音を聴診器で聞いたり、縫合をしたりと、普段は触れることのない機器や道具を実際に体験、目を輝かせながら真剣に取り組む姿が印象的でした。



## 院内見学ツアー

見学は「薬剤科」「検査科」「放射線科」「病棟ナースステーション」「ベビー室」などのバックヤードを見学し、それぞれの部署で実際の業務も体験しました。



## 子どもたちの感想

- 思っていたよりたくさんの体験ができてよい経験ができた。白衣を着るのも初めてで、体験をする時に教えてくれたお兄さんやお姉さんもやさしくてまた機会があったらまた来たいです。
- 手術体験がとても楽しかった！もっと早く知ってやりたかったです。「心臓と肺キーホルダー」のプレゼントがよかった！！
- ふくくきょうシミュレーター体験で、研修医の先生に将来なつてほしいと言われたので、すごくうれしかったです。
- いろいろなことを病院で体験することができて、ゆめのように感じ、そしてすごくうれしく感じました。
- いつもは見れない場所を見れてよかったし、しらないところでいろいろなことをみんなやってるんだなあと思いました。



## 保護者の方の感想

- とてもあたたかく熱心に教えて下さりうれしかったです。専門家にお話ししていただける貴重な経験ができ、子供の将来へ活かしていきたいと思います。どの部門の職員の方も子ども達に真剣に対応いただき、子どもにもその熱意が伝わっていたと思います。
- 過去いろいろと類似の体験イベントは行きましたが、内容の充実さやサポートなど随一だと思いました。写真のダウンロードまでご準備いただき驚きました。
- 実際の病院での医療体験ができ、とても貴重な時間を過ごせました。医師や看護師だけではなく、職業を知ることでも視野も広がったと思います。
- 皆様のお心遣いのおかげで、参加した娘本人がより医療に興味を持ったようです。

## ご参加頂いた皆様、ありがとうございました

当院では、地域の皆様に医療を身近に感じていただく取り組みを今後も続けて参ります。来年度も夏休み期間に開催予定ですので、是非ご参加ください。

8月5日参加の皆様



子どもたちからの質問に答えました

8月26日参加の皆様



# 救急症例研究会

2026年(令和8年)8月28日(金)、第23回 練馬総合病院救急症例研究会を開催致しました。日頃よりお世話になっている4事業所(練馬消防署本署・平和台出張所・貫井出張所、光が丘消防署)をはじめ、練馬区の消防団、練馬区職員の皆さま、合計36名にご参加いただきました。

基調講演では、地域連携室室長・副院長栗原より「1年間の救急搬送実績と課題」と題し、当院における救急医療の現状と、今後の課題について報告しました。令和7年度、当院への救急搬送依頼は7,670件、救急搬送数4,732件、応需率61.7%でした。今年度は、年間5,000台の救急搬送受入を目標に掲げ、日々診療にあたっています。

第1部は、「高齢者施設にて発熱・SpO2値低下により救急搬送された症例」、「発熱で救急搬送された傷病者の搬送症例」の2症例について検討しました。

第2部では、救急科医師石井より、「当院の救急受け入れ態勢」「熱中症患者の急速冷却」についてお話ししました。熱中症患者の急速冷却法として、冷水浸漬法(CWI)、タープを用いたTACO法、最新の「氷水シート被覆法」を紹介しました。

事後アンケートでは、「氷水シートの有効性、噴霧と蒸散も同じくらい重要であることがわかりました。」「熱中症に対する新しい処置など、新しい知識が多く、今後につながるといった声をいただきました。

引き続き、消防機関や行政機関の皆さまと顔の見える関係を構築し、症例研究会等を通じて救急医療における連携をさらに深めてまいります。

地域連携室 室長 栗原、神村



## 診療看護師 (NP) 紹介

2026年(令和8年)8月より、救急科の診療看護師(NP)として入職いたしました杉田礼子と申します。診療看護師(NP)は、大学院で医学的知識と特定行為を学び、医師と連携しながら、診察や検査・治療の提案、処置などを行う看護師です。

看護の視点を大切に、患者さんに必要な医療につなげられるよう努めてまいります。救急・急性期医療で培った経験を生かし、医師や多職種の皆さまからご指導・ご助言をいただきながら、チームの一員として救急医療に貢献していきたいと考えております。患者さんやご家族の不安に寄り添い、安全な医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



# 敬老の日講演会

2026年(令和8年)9月16日(水)にココネリホールにて毎年恒例の敬老の日講演会が開催されました。今年は『あなたの目、耳、鼻は大丈夫? ~いつまでも元気で健やかな毎日のために~』をテーマに講演がおこなわれました。

まず冒頭、総合司会の栗原副院長より「感覚器の衰えを『年齢のせい』と諦めず正しく対処することが健康寿命につながる」という企画趣旨が示されました。続いておこなわれた講演では、まず眼科の飯塚医師より「目からウロコの目の健康講座」と題し、白内障・緑内障・加齢黄斑変性の特徴や、早期受診・適切な治療による視力と見え方の維持の重要性について解説いただきました。次に耳鼻咽喉科の町井医師による「高齢者の難聴について」では、加齢性難聴の仕組みと認知症リスクを理解し、生活習慣の改善・セルフチェック・補聴器活用で聴力を補う方法が紹介されました。最後に栄養科の北島管理栄養士から「五感で楽しむ食事」について、単なる栄養補給にとどまらず、彩りや出汁の旨味・食感など五感を通じて食事を楽しむ健康長寿につなげる工夫が語られました。続くパネルディスカッションでは登壇者が意見を交わしながら参加者の質問に答え、生活に役立つ解説がおこなわれました。

当日は多くの皆様にご参加いただき、109名の方にお越しいただきました。併設の栄養相談、リハビリ相談、無料血糖測定なども好評でした。ご参加いただきましたみなさま、講演会にお越し下さり、誠にありがとうございました。

## 正しいケアで、好循環(上り坂)へスイッチ!



悪循環に陥る前に、予防と対策を行えば大丈夫。  
いつまでも彩り豊かな毎日を送りましょう!



パネルディスカッションの様子



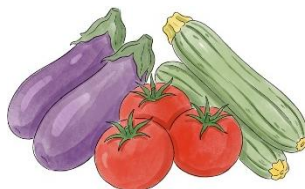
相談コーナー

# 地中海式健康和食 料理講座

2026年(令和8年)9月9日(水)に地中海式健康和食料理講座を開催しました。今回もたくさんの方にお越しいただきました。はじめに糖尿病センター長である東医師より地中海式料理の特徴や、野菜などに含まれるファイトケミカル、鮭やイクラ、カニに含まれるアスタキサンチンなど食事と健康について分かりやすくお話しいただきました。続いて管理栄養士から今回のレシピの鍵となる豆腐の種類や栄養についてお話しいただきました。豆腐にまつわるお話しをしたあとは、調理開始です。

今回のメニューは「豆腐と夏野菜のオリーブオイル炒め」と「豆腐の спреッド」です。オリーブオイル炒めは、彩り豊かな夏野菜にトマトのほどよい酸味、ミョウガ・大葉・かつお節の風味が加わり、塩分が少なくてもとても美味しい一品となりました。豆腐の спреッドは、にんにく・味噌・はちみつの3種類を用意しました。にんにくはフムス風に、味噌は和風に、はちみつはほんのり甘く、それぞれ

とても味わいがありました。完成後は皆さんで試食し、参加された方々からも好評で、身近な食材を使いながら、楽しく「食と健康」について学べる時間となりました。次回の開催は11月11日を予定しており、レシピのテーマは「魚」です。次回もたくさんの方の参加をお待ちしております。



# 患者さんの声にお応えします

## 患者満足向上委員会

■「患者さんの声」に寄せられたご意見から抜粋して掲載いたします。

Q. 食事の件ですが、色々なおかずとデザートのある常食とおも湯と具ナシスープか味噌汁とデザートのための流動食、同じ値段はおかしいと思います。価格の見直しご検討宜しくお願いします。既に価格差がありましたら申し訳ございません。

A. まず、流動食についてご説明いたします。流動食は術後や消化器症状のある方など、消化機能が低下している時でも無理なく食べられるよう工夫したお食事です。重湯はお粥を作る際の上澄み液であり、お粥と同等の時間と手間をかけて調理しております。また、固形物が提供できないためゼリーや具なしの汁物となりますが、ミルクゼキなども食材をミキサーにかけた後に裏ごしするなど、丁寧に作っています。病院の食事は治療の一環として医師の指示のもと提供されており、入院中の食事代(標準負担額)は健康保険制度により全国一律で定められています。厚生労働省が定める基準に基づくため、食事内容によって値段を変えることはできません。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。



■患者さんから寄せられた感謝の言葉も掲載いたします。

### 封書のお手紙

練馬総合病院の皆さまには、日頃よりお世話になりまして、真にありがとうございます。担当して頂きました先生には大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。「順調に回復していますよ」と何度も声をかけて下さり、この励ましのお言葉で助けて頂きお蔭様でこの日を迎えることができました。ありがとうございました。先生は常に患者さんの皆さんの回復を願い一番に喜んでいらっしゃるお気持ちが伝わっておりました。どうぞこれからも多くの患者さんに寄り添いお救いくださいますようお願い申し上げます。皆様ありがとうございました。



今後も皆様のご意見を参考に、より良い病院づくりを目指します。

<次号> Vol.142 2027年1月 発行

患者満足向上委員会・広報委員会では当院に対する

皆様からのご意見・ご質問などを「ご意見箱」などでお待ちしております

ご意見箱設置場所

各階談話室、玄関入口総合案内

連絡先

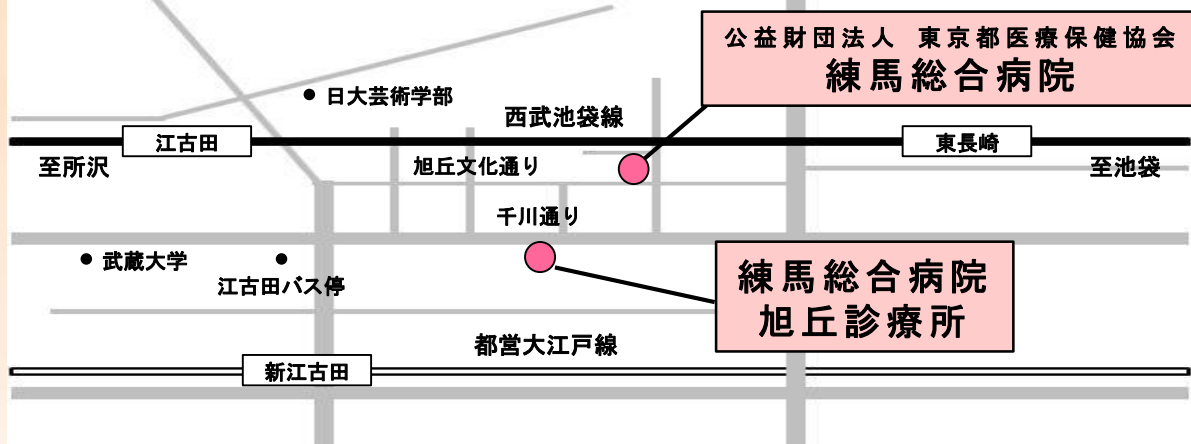
Tel : 03-5988-2200 (代表)

Fax : 03-5988-2250

<https://www.nerima-hosp.or.jp>



# 当院へのご案内



## ●練馬総合病院

〒176-8530 東京都練馬区旭丘1-24-1

・診療 問い合わせ 03-5988-2290  
・各種ドック、健診 03-5988-2246  
・その他問い合わせ 03-5988-2200 (代表)  
FAX 03-5988-2250

## ●旭丘診療所

〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-32-9  
第2MEマンション1階

・TEL 03-5982-8022  
・FAX 03-5982-8045

交通：電車 ■西武池袋線 . . . . 江古田駅南口 . . . . 徒歩7分  
. . . . 東長崎駅南口 . . . . 徒歩10分  
■地下鉄有楽町線 . . . . 小竹向原駅④出口 . . . . 徒歩15分  
■都営大江戸線 . . . . 新江古田駅 . . . . 徒歩10分

## 【診療科目】

### ●練馬総合病院

内科／外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科  
眼科／耳鼻咽喉科／循環器内科／リハビリテーション科／救急科  
健康医学センター(各種ドック・健診)／内視鏡センター／糖尿病センター  
結石センター／スポーツ医学センター／婦人科低侵襲手術センター  
脊椎脊髄センター

### ●旭丘診療所

小児科／漢方内科

## 【受付時間】

練馬総合病院 8:00～11:00 12:00～16:00  
旭丘診療所 8:30～11:30 13:00～16:00  
(第2・第4土曜日のみ 9:30～11:30)

## 【休診日】

土曜日／日曜日／祝日／年末年始

## 【救急受付】

24時間・当直医常時4名体制  
(内科／外科系／産婦人科／脳神経外科)

## 【面会】

面会可能時間 平日、土日祝 14:00～18:00  
面会人数 3名まで(16歳以上の方)